

家庭系ごみの「一部有料化」と「戸別収集」
合言葉は、「分別・水切り・減量化～私にできる小さな一歩～」

海老名市資源化センター リニューアル

海老名の
ごみ事情
vol.14

問環境課 ☎(235)4922

資源物の中間処理施設「海老名市資源化センター」がリニューアルし、11月16日(土)から本格稼働します。家庭から排出される資源物の量の変化に対応し、従来の施設より処理能力を増強しました。

えびな環境トピックス

制度開始から1カ月 ご協力ありがとうございます

家庭系ごみの一部有料化・戸別収集開始から1カ月が経ちました。「分別ルールを守る」「お住まいの地区の収集曜日を確認する」「決められた指定収集袋に入れる」など、適正なごみの排出に引き続きご協力をお願いします。

戸建て住宅にお住まいの方へ 容器・ネットが飛ばされないよう対策を

燃やせるごみを排出するときに使用している容器やネットなどに重しをする、ひもでつなぐなどの対策をお願いします。風で飛ばされ事故につながることがあります。

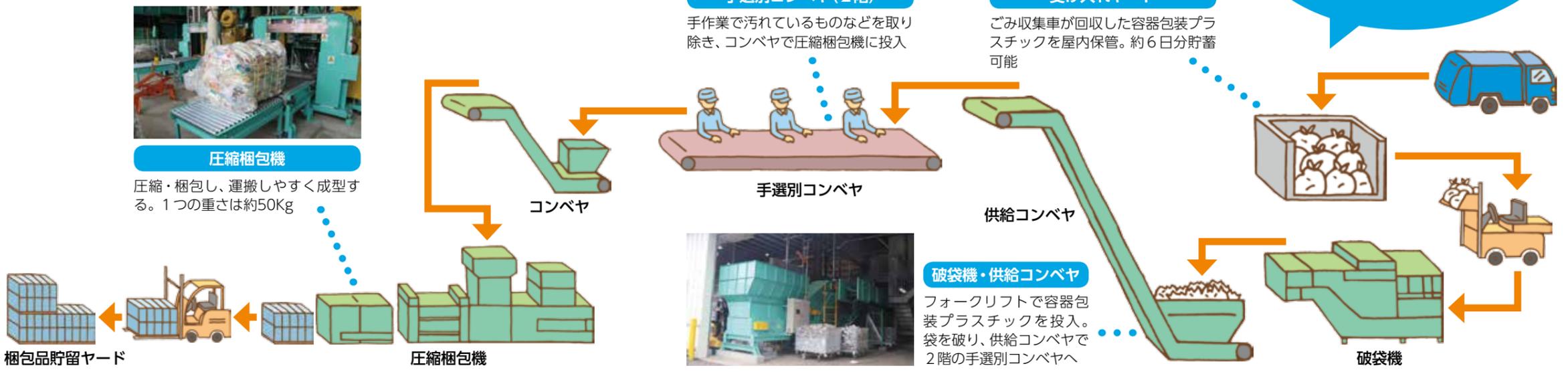


- 排出時の注意**
- 「電池を外す」
「ライターは使い切る」
火災の原因になります。ライターは燃やせるごみとして排出してください。
 - 「ペットボトルのラベル・蓋を外す」
ペットボトル本体と、ラベル・蓋は品目が異なります。手作業で外すため、処理効率が下がります。
 - 「容器包装プラスチックの汚れを取る」
すすいで排出してください。汚れた物は再生できません。燃やせるごみとして排出してください。



見学できます

ペットボトルや容器包装プラスチックの選別処理設備に見学ルートの新設しました。予約の受け付けは、年明けからの予定です。詳細は、環境課へお問い合わせください。



【表1】品目ごとの処理量の比較

品目	旧施設	新施設
缶	3.7t/日	3.7t/日
びん	4.9t/日	4.9t/日
ペットボトル	3.7t/日	7.0t/日
容器包装プラスチック		3.0t/日
家庭用金物類など	設備なし	7.0t/日
合計	12.3t/日	25.6t/日

- 資源物を選別し、再生業者へ(図1)**
- 海老名市資源化センターは、収集した資源物を選別・成型・保管し資源化しやすい状態に整えるための中間処理施設です。缶・びん・ペットボトル・容器包装プラスチック・家庭用金物類などはそれぞれの設備で処理し、乾電池・蛍光管・電球・廃食用油は一定量になるまで保管します。(図2)
- それぞれの品目ごとに汚れた物や品目の違う物が取り除かれ、効率的に運搬するための圧縮・梱包処理を経て、各再生業者に引き渡されます。
- リニューアルの3つのポイント**
- 新たな施設は品目に応じた設備の導入などで、1日に25・6tの資源物を処理できるようになりました(表1)。また、資源物の受け入れから処理までが屋内でできるようになり、環境に配慮した施設となりました。
- 1 ペットボトルと容器包装プラスチックの処理能力が従来の2.7倍に
同じ設備で交互に処理。処理能力は1日3.7t
 - 2 家庭用金物類などの処理が効率的に
手作業で処理
専用のコンベヤを導入したことで、流れ作業が可能に
 - 3 資源物の保管が屋内に
屋外保管のため、強風にあおられて飛散することも
屋内保管にしたことで、周辺環境に配慮
- それぞれの設備で、処理の同時進行が可能に。処理能力は従来の2.7倍の1日10t